

只今は趣向を凝らし、わくわく感が湧いてくるオープニングセレモニーを楽しませてもらいました。昨年同様、我が西中には個性あふれる役者やダンサー、タレント、もりあげ隊がいることを再確認しました。また、思わず「すごい」の声が上がった立派で美しい全校制作にも感動しました。

ついに「第49回かざこし祭」の幕が上がりました。今日はとてもさわやかな秋晴れで、清々しさを感じます。天も私たちを応援してくれています。まずは、生徒会役員と3年生を筆頭に、1・2年生徒会員の皆さんや先生方が、この本番のために費やしてきた努力に敬意を表します。また、保護者の皆様におかれましては、PTA親子作業で学校環境を整えてくださいましたこと。加えて、音楽会やスポレクの保護者参観の際に、ご協力いただきますことに謹んで御礼申し上げます。どうぞ、お子さんがたくましく成長している姿を感じていただければと存じます。

全校合唱の「水平線」ですが、2020年のコロナ禍の影響により、インターハイが中止になった出来事から生まれた楽曲であると知りました。この歌詞に込められている思いを噛みしめると、もがきながらも前を向いて生きていく、若き青少年に対する深いメッセージを感じます。

さて、今年の文化祭は、昨年度より1か月近く準備期間が短いこともあり、皆さんには焦りがあったり、苦労が絶えなかつたりしたかもしれません。学級閉鎖になったクラスでは、準備万端とまではいかなかったかもしれません。しかし、3日前から全クラスが揃い、今日も一堂に会することができました。よくぞここまで乗り越えました。

今から始まる本番の発表に際しては、ドキドキ感があると想像します。発表のときには、完璧を求めなくてもよいです。今ある自分の力+アルファによって、自分の思いを相手に伝えるということに重きをおいてみてください。加えて、失敗やミスを恐れることもありません。周りの仲間があたたかくフォローしてくれますし、ちょっとしたご愛敬にもなります。

生徒会最大行事であり、歴史を積んでいる文化祭に、自分の色を重ねるときです。今日明日と、かけがいのない友と、支えてくださっている先生方と一緒に、今まで培ってきた思いを惜しみなく発揮し、躍動してください。後は皆さんに任せます。スクラムを組んで「かざこし祭」を満喫し、自分らしく、でもちょっと背伸びをして、思う存分やり切ってください。